



## 「大学創立 30 周年を迎えて」

今年度、聖学院大学は創立 30 周年を迎えました。聖学院大学は、1988 年 4 月に政治経済学部政治経済学科の 1 学部

1 学科で始まり、それから 30 年の歩みを経てきたわけです。

ところで、聖学院大学は 30 周年を迎えましたが、大学の前身である女子聖学院短期大学は、昨年度、創立 50 周年を迎えました。また、大学と同じキャンパスにある聖学院みどり幼稚園は、今年度、創立 40 周年を迎えます。学校法人聖学院は、東京都北区にある駒込キャンパスに幼稚園・小学校・中学高等学校(男子と女子)を擁し、その歴史は 110 年を超えています。しかし、このさいたま・上尾キャンパスも、50 年を超える歴史を刻むことになりました。その最初の歴史を築いた女子聖学院短期大学は、聖学院大学の創立後、大学と併合する形でその歴史を終えましたが、チャペル正面から入った右側に、短大記念室というのがあり、そこで短大の歴史を学ぶことができます。是非一度ご覧ください。

大学はその後、1992 年に人文学部が、また 1996 年には大学院が、さらに 2004 年には人間福祉学部が開設されました。また今年度から人間福祉学部が心理福祉学部と改組され、児童学科も人文学部に移り、新しい体制で 30 周年を迎えることになりました。

聖学院大学は、「神を仰ぎ 人に仕う」という法人全体のモットーを初め、「良き隣人となる」、また「一人を愛し、一人を育む」という教育方針を持って、教育と研究に取り組んでいます。そして、そうした精神を絶えず継承し、養っているところが、この礼拝です。礼拝以外にも、キリスト教の授業等を通して学ぶ機会がありますが、何よりも礼拝を通して聖書のみ言葉に聞き、その精神に触れ、一人ひとりの成長の糧として欲しいと思います。

(キリスト教センター所長、政治経済学部チャプレン 菊地 順)

## 2018 年度年間聖句

だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。  
コリントの信徒への手紙二 5 章 17 節

## 4 月 月間聖句

わたしはまた、新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は去って行き、もはや海もなくなった。  
ヨハネの黙示録 21 章 1 節

## 行事・集会のご案内

### ■イースター礼拝

日時／4 月 19 日(木)14 時 40 分～15 時 10 分 場所／チャペル

◇ イースター(復活祭)は、十字架につけられて死なれた主イエス・キリストが、3 日目に復活されたことを記念する祝祭です。  
今年のイースターは 4 月 1 日です。



## 聖学院教会祈禱会

■毎週木曜日 18 時 40 分～19 時 40 分、緑聖ホール C 室にて行っております。  
どなたでも自由にご参加ください。

- ・4 月 12 日(木) 出エジプト記 12 章 東野ひかり牧師
- ・4 月 19 日(木) 出エジプト記 13 章 東野尚志牧師

## 全学礼拝期間について

2018 年度春学期の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、14 時 40 分から 15 時 10 分です。どなたでも自由にご参加ください。

春学期／4 月 11 日(水)～7 月 25 日(水)

## 主の祈り

天にましますわれらの父よ  
 ねがわくはみ名をあげさせたまえ  
 み国をきたらせたまえ  
 みこころの天になるごとく  
 地にもなさせたまえ  
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく  
 我らの罪をもゆるしたまえ  
 我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ  
 国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり アーメン



4月11日(水)

奨励者 菊地 順  
 (キリスト教センター所長、  
 政治経済学部チャプレン)  
 司会者 五十嵐 成見  
 奏楽者 今村 優子  
 ◆ ◆ ◆  
 前 奏  
 讃美歌 312 番 1、2 節  
 聖 書 ルカによる福音書  
 15 章 1～7 節(新約 P.138)  
 祈 禱  
 奨 励 「一人を愛し、一人を育む」  
 祈 禱  
 讃美歌 312 番 3 節  
 主の祈り  
 後 奏

4月12日(木)

奨励者 五十嵐 成見  
 (心理福祉学部兼人間福祉学部  
 チャプレン)  
 司会者 柳田 洋夫  
 奏楽者 清水 貴子  
 ◆ ◆ ◆  
 前 奏  
 讃美歌 354 番 1、2 節  
 聖 書 マタイによる福音書  
 9 章 15～17 節(新約 P.15)  
 祈 禱  
 奨 励 「新しくなろう！」  
 祈 禱  
 讃美歌 354 番 3、4 節  
 主の祈り  
 後 奏

4月17日(火)

奨励者 清水 正之  
 (理事長・学長)  
 司会者 菊地 順  
 奏楽者 清水 貴子  
 ◆ ◆ ◆  
 前 奏  
 讃美歌 291 番 1 節  
 聖 書 ガラテヤの信徒への手紙  
 5 章 22～26 節(新約 P.350)  
 祈 禱  
 奨 励 「霊の実をみのらせる」  
 祈 禱  
 讃美歌 291 番 2 節  
 主の祈り  
 後 奏

4月18日(水)

奨励者 古谷野 亘  
 (心理福祉学部兼人間福祉学部長)  
 司会者 柳田 洋夫  
 奏楽者 今村 優子  
 ◆ ◆ ◆  
 前 奏  
 讃美歌 285 番 1、2 節  
 聖 書 ヨハネによる福音書  
 20 章 19～21 節(新約 P.210)  
 祈 禱  
 奨 励 「扉を開けて」  
 祈 禱  
 讃美歌 285 番 3、4 節  
 主の祈り  
 後 奏



4月13日(金)

奨励者 柳田 洋夫  
 (大学・人文学部チャプレン)  
 司会者 久保 哲哉  
 奏楽者 今村 優子  
 ◆ ◆ ◆  
 前 奏  
 讃美歌 122 番 1、2 節  
 聖 書 箴言  
 2 章 1～12 節(旧約 P.992)  
 祈 禱  
 奨 励 「YOUは何しに聖学院へ？」  
 祈 禱  
 讃美歌 122 番 3 節  
 主の祈り  
 後 奏

イースターのシンボル

**イースター・エッグ** イースターには、よみがえる新しいいのち、永遠の命のシンボルとしてイースター・エッグが交換されます。  
**うさぎ**は、春になると穴から出てのびのびと跳ね回ります。そのように死の深い淵・死の闇といった穴からいのちへと躍動する喜びの象徴として、しばしばうさぎが用いられます。  
**パンと魚**の図形は、復活の主がガリラヤ湖畔に現れ、弟子たちとともに食事をされたことを示し、主が約束してくださった永遠の命と復活の主との交わりを意味します。



4月19日(木)

— イースター礼拝 —  
 奨励者 山口 博  
 (聖学院院長、女子聖学院中高校長)  
 司会者 五十嵐 成見  
 奏楽者 相川 徳孝  
 ◆ ◆ ◆  
 前 奏  
 讃美歌 158 番 1、2 節  
 聖歌隊による讃美奉献 496 番  
 聖 書 ルカによる福音書  
 24 章 1～12 節(新約 P.159)  
 祈 禱  
 奨 励 「墓で終わる人生に望みなし」  
 祈 禱  
 讃美歌 158 番 3、4 節  
 主の祈り  
 後 奏

4月20日(金)

奨励者 東野 尚志  
 (聖学院教会牧師、聖学院みどり幼稚園  
 チャプレン、本学講師)  
 司会者 久保 哲哉  
 奏楽者 清水 貴子  
 ◆ ◆ ◆  
 前 奏  
 讃美歌 270 番 1、2 節  
 聖 書 ローマの信徒への手紙  
 5 章 1～5 節(新約 P.279)  
 祈 禱  
 奨 励 「誇らしい希望」  
 祈 禱  
 讃美歌 270 番 3、4 節  
 主の祈り  
 後 奏